



HyperFlex ストレッチ クラスタの管理

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [ストレッチ クラスタの状態をモニタリング \(1 ページ\)](#)
- [システム情報の表示 \(4 ページ\)](#)
- [データストアの作成 \(7 ページ\)](#)
- [ストレッチ クラスタ サイトのグレースフル シャットダウン \(8 ページ\)](#)

概要

HX Connect を使用して、ストレッチ クラスタ内のサイトと監視ノードに対して次の操作を行うことができます。

- サイトおよび監視ノードでの HyperFlex クラスタの動作ステータスと復元カステータスを確認できます。
- サイトと監視ノードの機能ステータスと、監視ノードの IP アドレスを確認できます。ノードとディスクデータを含め、HX ストレージクラスタのシステム関連の情報を確認できます。
- メンテナンス モードを開始/終了できます。
- データストアを作成する際に、ストレッチクラスタ内のいずれかのサイトをデータストアに関連付けることができます。

ストレッチ クラスタの状態をモニタリング

[ダッシュボード (Dashboard)] ページで、HX Connect 内の両方のサイトおよび監視ノードでの HyperFlex クラスタの動作ステータスと復元カステータスを確認できます。



重要 読み取り専用ユーザには、ヘルプで利用可能なすべてのオプションが表示されるわけではありません。HX Connect では、ほとんどのアクションの実行に管理者特権が必要です。



ステップ 1 HX Connect にログインします。

- ブラウザで、HX ストレージ クラスタ管理 IP アドレスを入力します。
https://<storage-cluster-management-ip> に移動します。
- 管理者ユーザのユーザ名とパスワードを入力します。
- [Login]** をクリックします。

ステップ 2 左側のナビゲーション ウィンドウで、[ダッシュボード (Dashboard)] をクリックします。

ステップ 3 [ダッシュボード (Dashboard)] では、HyperFlex ストレッチ クラスタに関する次の詳細情報を表示することができます。

ストレッチ クラスタ全体のサイトでの HX ストレージ クラスタのステータスの概要が表示されます。

UI 要素	基本的な情報
[動作ステータス (Operational Status)] セクション	<p>サイト A およびサイト B での HX ストレージ クラスタの機能ステータスおよびアプリケーション パフォーマンスが表示されます。</p> <p>監視ノードの機能ステータスおよびアプリケーション パフォーマンスが表示されます。</p> <p>[情報 (Information)] (情報アイコン) をクリックして、HX ストレージ クラスタ名とステータス データにアクセスします。 </p>
[復元力ヘルス (Resiliency Health)] セクション	<p>サイト A およびサイト B での HX ストレージ クラスタのデータヘルスステータスおよび耐障害性が表示されます。</p> <p>[情報 (Information)] (情報アイコン) をクリックして、復元力ステータス、レプリケーションデータ、障害データにアクセスします。 </p> <p>両サイトの各ノードでのデータレプリケーションコンプライアンス、キャッシュデバイスの耐障害性、およびデバイスの耐障害性も表示されます。</p>
[容量 (Capacity)] セクション	<p>ストレージ合計の内訳と使用中または未使用のストレージ容量が表示されます。</p> <p>また、ストレージの最適化、圧縮による節約、およびクラスタに格納されているデータに基づく重複排除比率も表示されます。</p>
[ノード (Nodes)] セクション	<p>ストレッチ クラスタのサイト A およびサイト B 全体におけるノード数およびコンバージド ノード対コンピューティング ノードの区分が表示されます。</p> <p>ノード アイコンの上にカーソルを合わせると、ノードの名前、IP アドレス、ノードタイプが表示されます。また、容量、使用率、シリアル番号、およびディスク タイプ データにアクセスできるディスクがインタラクティブに表示されます。</p>

UI 要素	基本的な情報
[パフォーマンス (Performance)] セクション	設定可能な時間の HX ストレージクラスタのパフォーマンス スナップショットが表示され、IOPS、スループット、および遅延データが表示されます。 詳細については、[パフォーマンス (Performance)] ページを参照してください。
[クラスタ時間 (Cluster Time)] フィールド	クラスタのシステム日時。

HX Connect 内のいくつかのテーブルには、テーブルに表示される内容を左右する次の 3 つのフィールドのどれかが表示されます。

UI 要素	基本的な情報
[更新 (Refresh)] フィールドとアイコン	HX クラスタの動的な更新のためにテーブルが自動的に更新されます。タイムスタンプは、テーブルが最後に更新された時刻を示します。 コンテンツを今すぐ更新するには、円形アイコンをクリックします。
[フィルタ (Filter)] フィールド	入力したフィルタテキストと一致するリスト項目のみがテーブルに表示されます。表の現在のページに記載されている項目は自動的にフィルタ処理されます。入れ子になったテーブルはフィルタ処理されません。 [フィルタ (Filter)] フィールドに選択テキストを入力します。 [フィルタ (Filter)] フィールドを空にするには、 x をクリックします。 テーブル内の他のページからコンテンツをエクスポートするには、下部までスクロールし、ページ番号をクリックしてフィルタを適用します。
[エクスポート (Export)] メニュー	テーブルデータの現在のページのコピーを保存します。テーブルコンテンツは、選択したファイルの種類でローカルマシンにダウンロードされます。リストの項目をフィルタ処理すると、フィルタ処理されたサブセットリストがエクスポートされます。 エクスポートファイルの種類を選択するには、下向き矢印をクリックします。ファイルの種類オプションは、csv、xls、および doc です。 テーブル内の他のページからコンテンツをエクスポートするには、下部までスクロールし、ページ番号をクリックしてエクスポートを適用します。

システム情報の表示

[システム情報 (System Information)] ページでは、ノードおよびディスク データを含め、HX ストレージクラスタのシステム関連の情報を確認できます。また、サイトのメンテナンスモードを開始または終了することもできます。

ステップ 1 HX Connect にログインします。

- a) ブラウザで、HX ストレージクラスタ管理 IP アドレスを入力します。
https://<storage-cluster-management-ip> に移動します。
- b) 管理者ユーザのユーザ名とパスワードを入力します。
- c) **[Login]** をクリックします。

ステップ 2 左側のナビゲーション ペインで、[システム情報 (System Information)] を選択します。

ステップ 3 [システムの概要 (System Overview)] タブでは、両方のサイトおよび監視ノードに関する次の情報を確認できます。

[HX ストレージクラスタ構成データ (HX Storage Cluster Configuration Data)] タブ

ストレッチ クラスタ サイトの HX ストレージクラスタの基本構成情報が表示されます。

フィールド	説明
[HX ストレージクラスタ (HX storage cluster)] フィールド	このストレージクラスタの名前。
[HX ストレージクラスタ (HX storage cluster)] フィールド	サイト A とサイト B での HX ストレージクラスタの機能ステータスが示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [オンライン (Online)] : クラスタは利用可能です。 • [オフライン (Offline)] : クラスタは使用可能ではありません。 • [読み取り専用 (Read Only)] : クラスタは領域外です。 • [不明 (Unknown)] : クラスタがオンラインになるまでの遷移状態。
[vCenter] リンク	この HX ストレージクラスタに関連付けられている VMware vSphere のセキュア URL。リンクをクリックして vSphere Web クライアントにリモート アクセスします。
[ハイパーバイザ (Hypervisor)] フィールド	この HX ストレージクラスタにインストールされているハイパーバイザのバージョン。
[HXDP バージョン (HXDP Version)] フィールド	この HX ストレージクラスタにインストールされているインストーラパッケージのバージョン。

フィールド	説明
[データ レプリケーション ファクタ (Data Replication Factor)] フィールド	この HX ストレージ クラスタに保存されている冗長データ レプリカの数。
[稼働時間 (Uptime)] フィールド	この HX ストレージ クラスタがオンラインであった期間。
[合計容量 (Total Capacity)] フィールド	このクラスタ全体のストレージ サイズ。
[使用可能な容量 (Available Capacity)] フィールド	このクラスタの空きストレージの容量。
[DNSサーバ (DNS Server)] フィールド	この HX ストレージ クラスタの DNS サーバの IP アドレス。
[NTP サーバ (NTP Server(s))] フィールド	この HX ストレージ クラスタの NTP サーバの IP アドレス。
[監視 IP (Witness IP)] フィールド	監視 VM の IP アドレスが表示されます。

ステップ 4 [ノード (Nodes)] タブでは、次の情報を確認できます。

この HX ストレージ クラスタ内の各ノードに関するデータが表示されます。この情報を表形式で表示するには、[ノード (Nodes)] ページに移動します。

UI 要素	基本的な情報
[ノード (Node)] フィールド	このクラスタ上でのノードの名前。
[モデル (Model)] フィールド	このノードの物理ハードウェアのモデル番号。
[ディスク (Disks)] フィールド	このノードのキャッシュと永続ディスクの数。
[ノードステータス (Node status)] フィールド	<ul style="list-style-type: none"> • オンライン • オフライン • メンテナンス中 • Healthy • 警告
[HXDP バージョン (HXDP Version)] フィールド	このノードにインストールされているインストーラパッケージのバージョン。

UI 要素	基本的な情報
[ハイパーバイザ (Hypervisor)] フィールド	<ul style="list-style-type: none"> • オンライン • オフライン • メンテナンス中 • 進行中
[ハイパーバイザ (Hypervisor)] フィールド	この HX ストレージクラスタの管理ネットワークの IP アドレス。
[コントローラアドレス (Controller Address)] フィールド	この HX ストレージクラスタでのコントローラ VM の IP アドレス。
[Controller Status] フィールド	この HX ストレージクラスタでのコントローラ VM のステータス。

ステップ 5 [ディスク (Disks)] タブでは、次の情報を確認できます。

ディスクが割り当てられているノードの場合、ディスクのインタラクティブディスプレイに次のデータがポップアップ表示されます。

表 1: キャッシュ ディスク

UI 要素	基本的な情報
[Slot Number] フィールド	ドライブの場所。
[シリアル番号 (Serial Number)] フィールド	このディスクの物理シリアル番号。
[ディスクの状態 (Disk State)] フィールド	<ul style="list-style-type: none"> • 待受中 (Ready)
[Capacity] フィールド	ディスクの合計サイズ。
[ストレージ使用率 (Storage Usage)] フィールド	使用中のストレージの割合。
[ロケータ LED (Locator LED)] アクション	ディスクを特定しやすくするためにホスト上の物理的なライトをアクティブにします。オプションは、[オン (On)]と[オフ (Off)]です。

表 2: 永続ディスク

UI 要素	基本的な情報
[Slot Number] フィールド	ドライブの場所。
[シリアル番号 (Serial Number)] フィールド	このディスクの物理シリアル番号。

UI 要素	基本的な情報
[ディスクの状態 (Disk State)] フィールド	<ul style="list-style-type: none"> 待受中 (Ready) ブラックリスト登録済み 削除予定
[使用済み/総容量 (Used / Total Capacity)] フィールド	ディスクの使用済み容量と合計サイズ。
[ストレージ使用率 (Storage Usage)] フィールド	使用中のストレージの割合。
[ロケータ LED (Locator LED)] アクション	ディスクを特定しやすくするためにホスト上の物理的なライトをアクティブにします。オプションは、[オン (On)]と[オフ (Off)]です。

データストアの作成

データストアを拡張クラスタ内のいずれかのサイトに関連付けるには、次の手順を実行します。

ステップ 1 HX Connect にログインします。

- ブラウザで、HX ストレージ クラスタ管理 IP アドレスを入力します。
https://<storage-cluster-management-ip> に移動します。
- 管理者ユーザのユーザ名とパスワードを入力します。
- [**Login**] をクリックします。

ステップ 2 左側のナビゲーション ペインで、[**Datstores**] をクリックします。

ステップ 3 [作業 (Work)] ペインで [スケジュールの作成 (Create Schedule)] をクリックします。

ステップ 4 データストア名とキャパシティを入力します。

UI 要素	基本的な情報
[データストア名] フィールド	この HX Storage Cluster で一意のデータストア名を入力します。
[サイズ (Size)] フィールド	<p>データストアの容量を入力します。</p> <p>測定単位を選択します。オプションは、[GB] と [TB] です。</p> <p>この HX Storage Cluster 内の仮想マシンをサポートするのに十分なサイズであることを確認します。</p>

UI 要素	基本的な情報
ブロックサイズ	ブロック サイズを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 8K : デフォルト • 4K
サイトアフィニティ	ドロップダウンリストから、このデータストアに関連付けるサイトを選択します。

ステップ 5 [データストアの作成 (Create Datastore)] をクリックします。

HX Data Platform はデータストアを作成し、この HX Storage Cluster 内のすべてのノードにマウントします。

ストレッチ クラスタ サイトのグレースフル シャットダウン

ストレッチ クラスタ サイトをシャットダウンする必要がある場合があります (たとえば、機器の再配置、定期的なメンテナンス、サイトの移動、サイトの作業、障害テストなど)。クラスタから VMware EAM の依存関係を削除した場合 (HX 4.0(2b) 以降のリリースのデフォルト)、vCenter または HX Connect で HX メンテナンス モードを使用して、サイト内の各ノードの制御 VM をシャットダウンできます。これが発生すると、サイトは正常にシャットダウンし、ゲスト VM は存続しているサイトにフェイルオーバーします。その後、必要に応じてノードの ESXi の電源を切ることもできます。CVM で EAM が有効になっていて、サイトのシャットダウンに関する詳細が必要な場合は、「[Cisco HyperFlex HX データ プラットフォーム ストレッチ クラスタの操作](#)」の付録 A を参照してください。

。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。